



# 日台稲門会

NEWS LETTER 第16号

平成21年(2009年)民国98年

晩秋に発行

発行 日台稲門会事務局

編集 岩永・小野間・齋藤

今年は旧政権同様、選挙だけが暑い(熱い)夏でした。またその渦中に八八台風が台湾を強襲し、中・米・日と台湾との関係も色々と変化しているようです。日台稲門会ニュースレター2009年秋号をお届けします。

## ◇ 日台稲門会・台湾校友会NEWS ◇

### 第13回日台稲門会定期総会・第10回日台交流の集い 盛大に開催される

5月23日(土) 15:00～ 総会及び記念講演会:大隈会館301号室、  
17:00～ 日台交流の集い:大隈会館201号室、

会場を内幸町から母校・戸山キャンパスへ移動して3年。平成21年度日台稲門会定期総会、記念講演会及び日台交流の集いが5月23日(土)、大隈会館にて開催されました。

#### 第一部 定期総会:(301号室)

・神田幹事の司会で始まった定期総会は議長に就いた石川会長の挨拶に続き、議案の審議・承認に入りました。事業報告、決算報告、監査報告(監事欠席につき代読)、事業計画案、予算案までが審議・承認され、続く任期満了による会長選任では、幹事会を代表して議長の推薦する岩永康久氏が全会一致で可決承認され、また会長の委嘱する新幹事も承認されました。なお石川前会長は顧問に就任しました。

#### 第二部 記念講演会:(301号室)

・財団法人交流協会台北事務所前代表の池田維(ただし)氏より「馬政権発足から1年一日台、中台関係の展望」と題してご講演を頂きました。

池田前代表はアジア局中国課長を始め各国大使など要職を歴任され、現在は交流協会顧問に就かれています(講演抄録は次号に掲載します)。

#### 第三部 日台交流の集い:(201号室)

・司会は神田幹事と丸山香おりさんのお馴染みのコンビで開幕しました。岩永新会長の開会挨拶、来賓のご祝辞に引き続き、山田敦・台北稲門会副会長ご発声の乾杯により開宴。来賓や講師を中心に交歓が続く中、台湾からの留学生や、「台湾人生(旧題・逍遙日記)」を監督した酒井充子さん等が続々登段し、日台交流に花を添えてくれました。最後に北村幹事とボニージャックスの西協会員の指揮で校歌を斉唱し、盛会の裡に終了しました。(齋藤記)

【来賓】池田維・交流協会台北事務所前代表、羅坤燦・台北駐日経済文化代表処副代表、斯吉甫・同文化部長、江夏健一・早稲田大学総長室特命参与、花尾能成・同渉外局長、鄭文哲・台湾校友会総幹事、山田敦・台北稲門会副会長、酒井充子・映画「台湾人生」監督【校友】能登八郎・行政書士稲門会会長、酒井健爾・同事務局長、奥山雅洋・同幹事 他7名、【会員】22名、【学生】31名、計68名(敬称略・順不同)



## 日台稲門会会長に就任して

岩永 康久 (昭和44年・政治経済学部卒業)

5月23日の総会にて新しく会長に選任されました。日台の相互理解・友好に少しでも貢献すべく、微力ながら最善を尽くす所存です。関係ご各位のご指導・御協力をよろしくお願い致します。日本の南端に位置する台湾、その重要性を認識していない日本人が多く、不安を感じてきました。台湾は日本の統治下に50年、その間悲喜こもごもの経験を経ながら、今でも80%以上の方々が親日感情を持っている、日本にとって掛け替えのない存在になっています。又、貿易立国である日本にとり原料の輸入、製品の輸出、飛行機(人)の往来等、かなりの部分が台湾の近くを通過しており、台湾の状況如何が日本の将来を左右する存在であります。それだけに日台の相互理解・友好は非常に重要であり、日台稲門会としてもその架橋となるべく、石川前会長、白鳥前々会長始め努力をなされました。その精神を引き継ぎ、頑張りたいと思っています。私は台湾に二度、合計12年駐在しました。その間台湾日本人会、台北市日本工商会の会長を務め、台

湾の色々な分野の方々と心温まる付き合いをさせていただきました。台湾の方々の「温かい人情味」を感じ、一方で国際的に孤立状態に置かれている「台湾人の悲哀」、「控え目な自己主張」を感じ取ってきました。それだけに日本ではなく寧ろ「台湾の視点」に立った取り組みも必要と感じております。末永き日台関係を維持する上で、これまで築いて来られた日本語世代の交流に加え、特に若者の相互往来・理解に注力したいと思っています。ささやかな活動かもしれませんが、ご協力の程よろしくお願い致します。



## 台湾台風被害の義捐金を代表処にお届けしました



8月8日台湾中南部を襲った台風8号は、50年ぶりという大水害を引き起こし、600人以上の犠牲者を出しました。現在も多くの被災者が苦しい避難生活を余儀なくされ、一日も早い復興が待ち望まれています。

当会は早速お見舞いを申し上げ、被災された台湾の人々を励ましたく会員に対し「募金活動」を開始しました。9月9日現在会員等(40名)から212,000円の義捐金が集まりました。これに会からの義捐金を加え、合計300,000円(10万円)をお見舞金としてお届け致しました。

9月4日(金)10:30、岩永会長、小野間幹事長、神田会計担当幹事の3名が、台北駐日経済文化代表處を訪問し、馮寄台代表に義捐金をお届けしました。

約1時間、馮代表、羅副代表を囲み色々なお話を伺う機会も得ました。政権交代後の台日関係、馬政権下の台中関係等、馮代表のクリアなお考えを聞いた事はとても有意義でした。

会員皆様のお志に深く感謝いたします。馮代表は今回の台風被害に対する日本政府、当会等民間団体、個人からの援助に大変感謝されておりました。

9月9日現在募金頂いた方は以下の通り。尚、記載以外で既に他の組織を通じ募金された方もあることを付け加えさせていただきます。(小野間記)

献金者 【会員】浅井利明、石川公弘、市川 智、一色 徹、井上 浩、井村晃也、岩永康久、大嶋 武、小野間恒夫、加藤 博、河合 洋、川村順一、神田正治、北村友雄、輿石邦豊、越谷重友、児玉 勇、近藤良三郎、齋藤 晃、佐藤 喬、下中幸雄、荘司真恵、関口恒雄、高 寛、高橋正和、陳恵珍、寺田 修、西川 潤、林田剛利、藤井素介、丸山弘子、村上克男、吉本正明、渡邊光治、高橋賢次、藤原慶子 【一般】芦崎 治、松尾淳一郎、周 海軒、黒田英生(敬称略)

## 平成21年夏期講演会・懇親会 盛大に開催される



川村 順一 (昭和54年・第一法学部卒業)



日台稲門会の主催で、8月31日18:00より、大手町カンファレンスセンター内の「プロント」にて“ネットゲーム依存と東アジア”というテーマで講演会が開催されました。講師はリーダーズノート社から5月に発売された「ネトゲ廃人」の

著書の芦崎治 (あしざきおさむ) 氏。当日は、台風の影響で強い風雨に見舞われましたが、21名の会員が参加し盛況でした。会場では、ゲーム好きなお子さんやお孫さんを持つ先輩諸氏が多くおられるのか、みなさん熱心に講師の方の話に聴き入っている様子でした。

実は、わたしは、ゲームなどのコンテンツプロデューサーで、2000年頃からネットゲームの可能性に魅力を感じ、14年勤めた日本の大手ゲーム会社を退社し、2002年に台湾の大手オンラインゲーム会社に転職した経歴から、この講演会には大変興味を持っ

ていました。

現在は、大学でゲームを含めたコンテンツ関係全般を教えています。ゲームに限らずエンターテインメント系コンテンツは社会問題の対象となりやすいので、産業面、社会文化面できちんとした位置づけがされるよう活動を続けています。

講演終了後、アジア・リパブリック・エンターテインメントの塚崎隆文社長から、8月29日から公開の映画『九月に降る風』の紹介がありました。台湾の若い感性を通じて日本との交流がよりいっそう深まることが期待されます。

尚、この度の台湾の台風被害への義捐の募金も行われましたが、『九月に降る風』の興行収入の一部も寄付されることになっています。



### 『海角七号 (Cape No.7)』、ついに日本公開決定！

台湾で世代を超えて爆発的大ヒットとなった『海角七号』が、日本にも上陸することになりました(邦題『海角七号 君想う、国境の南』)。シネスイッチ銀座にて2010年新春ロードショー、以降全国順次公開されます。

## ◇ 新会員・会友紹介 ◇

### 新 会 員

**小林 壮貴** (こばやし そうき) さん (昭和46年・商学部卒業) 所属先: 小林興起事務所顧問

兄の小林興起氏(衆議院議員・民主党)が自民党時代に日本・台湾友好議員連盟の会長を務めていて、その縁で台湾には親しみをお持ちとのこと。

### 新 会 友

**高 寛** (たか ゆたか) さん (横浜国立大学卒業)

台湾日本人会理事長(2008年)の経験があり、また当会の主旨に賛同されています。

## ◇ 会員コラム ◇

### 行政書士稲門会定時総会参加報告

小野間恒夫 (昭和39年・商学部卒業)

6月13日、「南国酒家」原宿店迎賓館で開催された行政書士稲門会定時総会に参加した。

当会との関係は、行政書士稲門会幹事で当会会員でもある大嶋幹事が仲立ちをしている。

大嶋幹事は台湾へ語学留学した折台北稲門会に所属し、その縁で帰国後日台稲門会に入会した。以来お互いの定期総会への参加が始まり、又台湾校友会総会への参加などを通じ親しくお付き合い続けている。私も幹事長に就任後3年続けてこの会に参加している。

行政書士稲門会は会員数120名強、昭和11年～平成16年卒の幅広い会員構成で、行政書士という共通の土俵があるせいか、日台稲門会とは一味違

う雰囲気を感じた。

懇親会には早稲田大学、衆議院議員、都行政書士会、他大学行政書士会などから多くの来賓が参加し、会員と親しく歓談し大変盛会でした。特に衆議院解散が噂された時期でもあり、元大蔵大臣の藤井裕久氏の周りには多くの参加者が集まり、国政談義に花が咲いていた。能登会長を始め顔見知りとなった会員も多く、親しく歓談させて頂き11月の台湾校友会総会での再会を約束しあった。懇親会の最後は、早稲田大学野球部台湾遠征で台湾でもすっかり有名人名となった山下副会長の指揮で校歌を斉唱し散会した。

### 「拉絳人男聲合唱團」東京公演鑑賞記

興石 邦豊 (昭和44年・政治経済学部卒業)

- 1、日 時 2009年7月29日  
場 所 杉並公会堂 大ホール  
主 催 拉絳人男聲合唱團東京公演実行委員会  
後 援 東京都合唱連盟、埼玉県合唱連盟、台北駐日経済文化代表処、在日台湾同郷会  
出 演 拉絳人男聲合唱團  
拉絳人とは直訳すれば「船を曳く労働者」で『言葉・思い・音楽の船』を仲間と共に力強く曳いて行こうとの想いがこめられて

いるそう。

1994年創立、台北を基盤に男声合唱の新たな可能性を探り、合唱芸術を世に広めることに邁進。国際コンクールにて数々の受賞を誇る実力派

賛助出演 合唱団お江戸コラリアーズ (男声/東京)

Canto di Alauda (女声/埼玉)

経 緯 公演実行委員の一人W大理工学院職員山脇卓也氏から江幹事経由日台稲門会に連絡あったもの。

- 2、南国の台湾人がコザック風(正しくはラップランド)の民族衣装をまとうて舞台上に登場。目

を閉じてうっとり聴いていたら広い雪原に果てしなく続く白樺林を煌々と照らす白い月がイメ

ージされた。

今日は猛暑だったから、避暑気分いっぱいになった。会場も勿体無いほどに空いていて一層静寂感を増す。この曲はラップランド民謡で倍音唱法という独特の響きと朗々たるソロが印象的な作品で、日本では「冬山のヨイク」という名で親しまれているそうである（私は始めて聴いた）。

本日掲題合唱団は本編14曲、アンコール2曲を披露したが、このうち本曲が最もはまっていると感じた。自慢のハーモニーがこれでもか、これでもかと奏でられた。

本当に美しいハーモニーであった。

但しもし私がプロデューサーであったならオーロラを映し出し幻想を更に高めるところだ。

合唱団の実力は間違いなく世界水準であるが、惜しいかな企画・運営力が不十分だったので残念で（私の知らぬところで色々な規制を受けたのかも・・・）宣伝不足なのか聴衆少なく、

照明など舞台演出もゼロ。

訪日公演ということで第3ステージでは、「赤とんぼ」の他、谷川俊太郎作詞、木下牧子・信長貴富作曲の2作品の発表があったがまさしく日台親善なればこそ。

極めて個人的好みを言うならばアンコール曲は、文字通り合唱団名「船を曳く労働者」にちなんでロシア民謡「ヴォルガの舟歌」と宮城県民謡「斎太郎節」をやって欲しかったな。俗っぽすぎるかな。

男声合唱団では従来私の好みは1番ミッチミラー、2番ウイーン少年合唱団であったが今回3番手に本合唱団が加わった。

詳述は省くが、賛助出演の日本2団体の歌声も素晴らしく、満足した2時間余を過ごす事が出来、帰途上の生ビールが実に美味かった。

以上

## § 台湾関連映画鑑賞記 §

### 「パッテンライ」(八田與一物語) 試写会

日本交流協会、住友商事の主催で4月28日に試写会が開催され、日台稲門会、早大の台湾講座受講生約25名が豊洲のららぽーとに招待受け、感動深く鑑賞しました。

「パッテンライ!! ー南の島の水ものがたりー」は、日本統治時代の台湾で土木技師として活躍した八田與一の業績と台湾地元民の交流を描いた長編アニメ映画。虫プロダクションが製作にあたった。題名の「パッテンライ」とは台湾語で「八田がやってきた」の意。

八田は石川県出身、東大を卒業して若くして台湾

岩永 康久 (昭和44年・政治経済学部卒業)

に派遣され、台湾南部の烏山頭(うさんとう)ダムの建設に従事した。烏山頭ダムの完成により、嘉義から台南に到る嘉南平原15万町歩に灌漑が行きわたり、今日の一大農業地帯の基礎が築かれた。

與一の台湾への貢献は高く評価され、台湾の親日感情の要因にもなっている。映画なのかでは日本人・台湾人が当初溶け込めない違和感を感じつつ、次第に理解し合っていく姿が真に迫る形で描かれており、非常に感動的でした。また、映画には出ませんが、與一死後、奥さまが烏山頭ダムに身を投げられたのも涙をそそる実話です。

### ポレポレ東中野で観た「台湾人生」

日本統治時代に育ち、広義の日本教育を受けた5人の台湾人へのインタビューで構成されている。仕事一筋で「休んだことがない」という楊足妹さん、台湾原住民・パイワン族出身の塔立國普家儒濤(タリグ・プジャズヤン)さん、靖國神社を参拝した「小泉は天晴れだよ」と仰る陳清香さん、

齋藤 晃 (昭和50年・商学部卒業)

数奇な運命を経て現在、台北二二八纪念馆でボランティア解説員を務めている蕭錦文さん、恩を受けた日本人教師を慕い続ける宋定國さん、彼らを軸に日本統治時代、国民党独裁時代を経て現在に至るまでの台湾人生が綴られる。女流監督ならではの繊細なエピソード満載の名作です。

## ◇ 台北稲門会便り ◇

### 台北稲門会会長に就任して



このたび台北稲門会の会長を務めさせていただくことになりました山田敦です。日台稲門会の皆様、改めましてどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

初めて台北稲門会の集まりに参加したのは台湾着任から約3年が過ぎた1994年の秋、林口で行われたゴルフコンペだったと記憶しています。当時は熊谷組の加藤さんが不動の会長として会をまとめていらっしゃいました。その後、白鳥さん、萩谷さん、北村さん、高橋さん、川田さんと会長職が引き継がれてきました。早いものであれから15年。まさか自分のような未熟者が会長をお引き受けすることになるうとは、...

自分の個性を一言で冷徹に表現すれば多分、「自意識過剰」あたりが一番近いと思います。子供のころから意地でも人と同じことはしない、同じ考え方をしないという思いがあったような気がします。大人になってからもそれは変わらず、11年前に会社を辞めて台湾で事業を始めてからは一層それが強くなってきているかもしれません。

果たしてそんな自分が稲門会会長の大役をお引き受けして良いものかどうか大いに悩みました。

今後は会長として、事に当たってはできるだけ会員のみなさんと会の将来にとってどうあるべきかを優先して考え、落ち着いて行動しなくてはいけないと自分に言い聞かせている次第です。もしも私が間違った方向へ行きそうになったら、その時はどうぞ皆さん遠慮なくご意見をお聞かせください。

山田 敦 (昭和59年・政治経済学部経済学科卒業)

おかげさまで台北稲門会の運営は現在とても良好な状態にあると思います。若手駐在員や留学生諸君を中心に会員数も順調に増えています。運営する側としては、「いつでも誰でも気楽に参加できる肩のこらない明るく和やかな会であり続けたい」と考えています。結果的に多くの皆さんが会に参加することを楽しいと感じてくれているのだと理解しています。先輩風を吹かせて威張り散らすような人、権威主義的な物言いをする人がいないことは今も昔も変わらない台北稲門会の一番の美点だと思います。これはおそらく日台稲門会も同じではないでしょうか？それは二つの稲門会の立ち位置である台湾という国の特質と大いに関係があるのではないのでしょうか？

ここで18年暮らしてみても改めて思うのは、台湾はとてもフェアな国であるということ。多様な価値観を認め合う社会/人間関係、建前よりも本音を優先する正直な生き方、言いたいことを言える自由、台湾ではごく当たり前のことですが意外にも日本では多くの場面でそれが未だにタブーだったりします。私たち早稲田出身者には昔から「早稲田らしさ」という言葉がありますが、前述した台湾という国の特質とそれは不思議に重なる部分が大いのように思うのですが、ちょっとこじ付けめいているのでしょうか。

台湾という国のことを大事に思う気持ち、熱意で自分たちはまだまだ日台稲門会の皆様にはかないそうにありません。日本と台湾、早稲田と台湾の関係は今後ますます親密で良好なものになるのは間違いないでしょう。私たち台北稲門会も微力ながら、日本と早稲田をより良く理解してくれる台湾の友人を増やしていくことに少しでも貢献できるよう日頃の活動を通じて努力していきたいと考えています。

#### <山田新会長プロフィール>※台北稲門会HPより引用しました

1960年生まれ、岐阜市出身、1984年 政治経済学部経済学科卒業、1991年 化学会社の駐在員として台湾に赴任、1998年 台湾で起業独立。自動車用電子製品を中心に商品開発を行う事業を行っています。

◆天母のアパートで単身生活中。陽明山が心のオアシス。

◆2004年から自転車ロードレースを始め、07、08年、台湾の市民レース45-49オクラスで年間優勝。09年は無謀にもエリートクラスにエントリーして毎レース苦戦中。

◆今年から約20年ぶりにオートバイを再開。台湾の山岳道路のスケールの大きさに圧倒されつつ毎週のよう各地へ遠征中。自転車とオートバイ、時間とカラダが足りません。

◆外食、外酒がやや苦手。料理好きで食べたいものは基本的に何でも自分で作ります。

## 「早慶ゴルフ報告」

台北稲門会運動部

第36回「早慶ゴルフコンペ」は72名様の参加及び、7名様のスコア参戦により、総勢79名という史上最大規模で、今年90周年を迎えた台湾GC（老淡水）で開催されました。まずは、選手を含め多大なるご協力を頂いた皆様ご感謝します。

前回までの通算成績は11勝23敗（1分）と残念ながら大きく水をあけられています。特に32回大会までに10連敗という暗黒の時代があり、なんとか11連敗を逃したものの、その後2連敗とまた始まった悪流れを断ち切る意味で、今大会は極めて重要な戦いです。

6月7日、早朝5時。心配された雨はあがり、また音響と書いても、時間に選手が会場入りします。この大会で久しぶりの再会をされる方も少なくありません。特に海外から参加される方の顔には、台湾に戻ってきたという満足な表情がかがえます。試合開始までの時間、交流の輪が広がります。

開会式の両校キャプテン握手から大会ムードは盛り上がります。両校この日のために練習会を幾度も開催し、腕を磨いてきました。前週までとの違いといえば、一昨日まで断続的に降っていた雨、多くの水を含んだ芝とグリーンは選手の勘を狂わせるに違いありません。

インとアウトに分かれて選手たちがスタートしてゆきます。

さて、それぞれの組ではどのような戦いが繰り広げられたのでしょうか？

天候にも恵まれ、表彰式が準備された宴会場には、日焼けで赤い顔をした選手が戻ってきます。汗の染み付いたスコアカードが戦いの暑さを示しています。幹事陣も板こついたので、スコア集計が開始されます。各テーブルでは健闘を称えあう交流の輪が広がるとともに、独自のスコア分析が行われています。すべてのスコア集計を完了し、我々運動部はひっそりと乾杯をしました。

全員が揃い、いよいよ表彰式開始。会場は一斉に成績発表に注目します。個人戦発表を終え、おまじかぬ団体戦。はやる気持ちを抑えながら、ゆっくりと上位から発表します。次第に大勢が見え始めると、会場はざわつき始めます。しかし、来るべき瞬間までぐっとこらえている様子が伺えます。

歓喜の渦は、両校10位の発表の瞬間にやってきます。

どカーンと大きな花火を打ち上げたような喜びの爆発に会場は包まれます。一気に校歌・紺碧の空を歌い、何度も乾杯し、握手攻めに遭い……至福の時間が過ぎてゆきます。度が過ぎていたのか、実はよく覚えていません。でも、早稲田でよかったと実感するひとときです。

今回は11月7日(会場未定)です。また、集いましょう！



## 日台早慶戦ゴルフのご案内

早慶戦ゴルフは台北では恒例になっており、両校の親睦に大いに貢献しています。

今回岩永会長と三田会飯沼さん（台北時代三田会会長）のご尽力により実現した企画です。

台北と異なり日本の場合は場所、時間、プレー費等難しい問題がありますが、今回名門習志野カントリーを予約出来ました。

平日のため現役の方には予め有給休暇を取るなどご足労を掛けますが、秋の一日を楽しみましょう。奮ってご参加下さい。

記

1. 日時：10月26日（月） 集合：9：00
2. 場所：習志野カントリークラブ キングコース

千葉県印西市大森7 TEL：0476-46-3111

\*クラブバス：「北総公団線千葉ニュータウン中央」よりクラブバスあり。約10分

3. スタート：インコース 9：30～（4組）

4. 費用：約17,000円（キャディー費、昼食代含む）

5. 申込：早稲田枠8名 \*申込締切：9月30日

\*参加ご希望の方は当メールで返信下さい。

\*参加者確定後、組合せなど詳細情報をお知らせいたします。

6. その他：ご不明の点があれば、事務局小野間迄ご連絡下さい。

以上

## ◇ 会 合 予 告 ◇

### 日本早稲田大学台湾校友会2009年総会

董炯熙会長からご案内を頂きました。会員の皆様には奮ってご参加頂くよう連絡申し上げます。

- 早稲田大学台湾校友会2009年度総会  
日 時：平成21年11月28日（土）  
場 所：台北）国賓大飯店 12階「樓外樓」  
母校から白井総長始め多数臨席の予定

- 総会翌日の懇親プログラム  
ゴルフ：老淡水ゴルフ場にて開催予定  
観 光：旅行家である校友・片倉佳史氏の案内で新竹観光予定  
なお、委細につきましては改めてご案内申し上げますので是非ご検討ください。

## ◇ 何でも顔をだします、齋藤ルポ ◇

### ■ 【陸上自衛隊】平成21年度 富士総合火力演習

- 日 時：8月29日（土）10：10～13：45
- 場 所：富士裾野・東富士演習場
- 内 容：主要装備品の紹介、戦車火力、空挺降下（曇天により中止）、航空偵察、ヘリボン行動、攻撃

新宿駅朝7時発「あさぎり」で御殿場に、駅前の演習場行きバス停はもう長蛇の列でした。演習場に到着するとシート観覧席はほぼ埋め尽くされ、我々は隊員の案内と岩永会長の機転とにより何とか席を確保できました。前段が装備の紹介、後段が戦闘シミュレーションという段取り。初めての実射を観て、

国防は理屈ではなく、その暴力性の量及び質が確実に存在することが大前提であることを実感しました。目の前に繰り広げられるのは「地獄の黙示録」「プラトーン」とは異なる圧倒的な現実感です。3キロ先の的を戦車はぶち抜き、自走砲は破壊する正確性。岩永会長のご案内でした、有難うございました。

### 【土木学会】第24回土木学会トークサロン

- 日 時：9月7日（月）18：00～20：00
- 場 所：土木学会講堂（JR四谷駅 外濠公園内）
- テーマ：「パッテンライ！土木技術者・八田與一の本懐とは何か ～社会に土木の価値と役割を伝えたい～」
- 講 師：古川勝三氏（「台湾を愛した日本人」著者）×緒方英樹氏（「パッテンライ！」企画者）

八田與一の生涯を描いた「台湾を愛した日本人」の著者・古川勝三氏と、長編アニメーション映画「パッテンライ！」の企画者・緒方英樹氏とのトークショー。お二人とも八田與一のお話を実によく調べ上げ、新たに認識させられたことが幾つもありました。また土木の先人・青山士（あきら）や宮本武之輔（荒

川と隅田川とを分けたのは彼らです）を取り上げ、この3人の技術者を通じて日本土木界の偉大な黎明期についての解説に甚だ感銘を受けました。八つ場ダムなど土木界は虐められているけれど、日本のため頑張りましょう。黒田さん（会員・清水建設）のご案内でした、有難うございました。

## 編集後記

FRB前議長グリーンズパンの言い訳、「100年に1度」(We are in the midst of a once-in-a century credit tsunami)がこんなに早く日本に押し寄せると、専門家の誰が予想したのだろうか。同様に、鳩山首相が提唱する「東アジア共同体」構想にどんな効果・影響があるのか、是々非々を筋立てた説明が未だにない。その責を担うはずの、評論家やマスコミの説明は競馬の予想と大差ない。その代りどうでもよいことを「うるさいと云えばなおお云う。よせと云えばますます云う。(中略)そうしてそれが処世の方針だと云う。」(「草枕」)。NHKスペ/シリーズJAPANデビュー第1回「アジアの「一等国」」での台湾人の反日感情の誇張、自虐史観に満ちた内容の放映を受け、勉強会「公共放送のあり方について考える議員の会」を発足された故中川昭一前衆院議員の死に接し、そう考えた。黙祷。